

●現代俳句とは何か 5人5句選 作者別ランキング

作者	作者別計	選句	選句計
金子兜太	13	梅咲いて庭中に青鯨が来ている	4
		銀行員等朝より螢光す烏賊のごとく	2
		合歓の花君と別れてうろつくよ	1
		水脈の果炎天の墓碑を置きて去る	1
		おおかみに螢が一つ付いていた	1
		海を失い楽器のように散らばる拒否	1
		彎曲し火傷し爆心地のマラソン	1
		原爆許すまじ蟹かつかつと瓦礫あゆむ	1
		人体冷えて東北白い花盛り	1
富澤赤黄男	7	蝶墜ちて大音響の結氷期	4
		やがてランプに戦場のふかい闇がくるぞ	1
		石の上に 秋の鬼みて火を焚けり	1
		草二本だけ生えてゐる 時間	1
池田澄子	6	じゃんけんで負けて蛭に生まれたの	4
		青嵐神社があったので拝む	1
		ピーマン切って中を明るくしてあげた	1
西東三鬼	4	広島や卵食ふ時口ひらく	2
		中年や遠くみのれる夜の桃	1
		水枕ガバリと寒い海がある	1
高屋窓秋	4	頭の中で白い夏野となつてゐる	4
高柳重信	4	吹き沈む／野分の／谷の／耳さとき蛇	1
		身をそらす虹の／絶巔／処刑台	1
		日本の夜霧の中の懐手	1
		●●○●／●○●●○／★？／○●●／ ○○●	1
正岡子規	4	柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺	1
		鶏頭の十四五本もありぬべし	1
		糸瓜咲て痰のつまりし仏かな	1
		いくたびも雪の深さを尋ねけり	1
松尾芭蕉	4	星崎の闇を見よとや啼千鳥	1
		古池や蛙飛びこむ水の音	1
		荒海や佐渡によこたふ天の河	1
		行春や鳥啼魚の目は泪	1
渡邊白泉	4	戦争が廊下の奥に立つてゐた	4
高浜虚子	3	川を見るバナナの皮は手より落ち	1
		怒涛岩を噛む我を神かと臆の夜	1
		去年今年貫く棒の如きもの	1

●現代俳句とは何か 5人5句選 作者別ランキング

作者	作者別計	選句	選句計
三橋敏雄	3	鐵を食ふ鐵バクテリア鐵の中	1
		たましひのまはりの山の蒼さかな	1
		人類憐愍令あれ天の川	1
阿部完市	2	少年来る無心に充分に刺すために	1
		ローソクもつてみんなはなれてゆきむほん	1
有馬朗人	2	火を焚くや白夜の森のバラライカ	1
		光堂より一筋の雪解水	1
宇多喜代子	2	八月の赤子はいまも宙を蹴る	2
桂信子	2	衣をぬぎし闇のあなたにあやめ咲く	1
		ふところに乳房ある憂さ梅雨ながき	1
加藤楸邨	2	雉子の眸のかうかうとして売られけり	1
		火の奥に牡丹崩るるさまを見つ	1
神野紗希	2	コンビニのおでんが好きで星きれい	1
		レモンスカッシュ輝かせどの今も今	1
鈴木六林男	2	暗闇の眼玉濡さず泳ぐなり	1
		遺品あり岩波文庫「阿部一族」	1
攝津幸彦	2	幾千代も散るは美し明日は三越	1
		南浦和のダリアを仮のあはれとす	1
田川飛旅子	2	遠足の列大丸の中とおる	1
		被爆者の下駄の写真と知り拝む	1
中島斌雄	2	雲秋意琴を売らんと横抱きに	2
中村草田男	2	金魚手向けん肉屋の鉤に彼奴を吊り	1
		降る雪や明治は遠くなりになけり	1
日野草城	2	見えぬ眼の方の眼鏡の玉も拭く	1
		蚊柱に夕空水のごときかな	1
正木ゆう子	2	地下鉄にかすかな峠ありて夏至	2
赤尾兜子	1	音楽漂う岸侵しゆく蛇の飢	1
穴井 太	1	夕焼雀砂あび砂に死の記憶	1
阿部青鞋	1	おやゆびとひとさしゆびでつまむ涙	1
飯島晴子	1	螢の夜老い放題に老いんとす	1
飯田龍太	1	一月の川一月の谷の中	1
石原八束	1	原爆地子がかげろふに消えゆけり	1
AI一茶くん	1	かなしみの片手ひらいて渡り鳥	1
大井恒行	1	針は今夜かがやくことがあるだろうか	1
大坪重治	1	虫の見るもの腹這えば見えてくる	1
大石雄介	1	最中二つそして薄暮が二つある	1

●現代俳句とは何か 5人5句選 作者別ランキング

作者	作者別計	選句	選句計
小川双々子	1	うすぐらきからだのかたち残花戒	1
加藤郁乎	1	牡丹ていっくに蕪村ずること二三片	1
河東碧梧桐	1	赤い椿白い椿と落ちにけり	1
河合凱夫	1	稲妻の切っ先鈍る夜の河	1
木田智美	1	ゆれて夜DJが言う大丈夫	1
桑原三郎	1	死んでから先が永さう冬ざくら	1
永田耕衣	1	恋猫の恋する猫で押し通す	1
篠原鳳作	1	蟻よバラを登りつめても陽が遠い	1
島津城子	1	君子蘭客の一人が豹変す	1
白木忠	1	君はまだすすきを優しく折れるか	1
鈴木石夫	1	立葵 変電所まで変な道	1
高野素十	1	甘草の芽のとび／＼のひとならび	1
高野ムツオ	1	陽炎より手が出て握り飯糰む	1
津川絵里子	1	聖樹に灯仮の家族として仰ぐ	1
津田清子	1	砂漠に立つ正真正銘津田清子	1
坪内捻典	1	三月の甘納豆のうふふふふ	1
中野茂	1	遠いことのように握る さくら明りの牛乳瓶	1
中島健二	1	きみのからだはもはや蠅からしか見えぬ	1
中村和弘	1	熊切村字川上の寒卵	1
なかはられいこ	1	ビル、がく、ずれて、ゆくな、ん、てきれ、いき、れ	1
成瀬正俊	1	径白く白夜の森に我をさそふ	1
野名紅里	1	どの秋果に似てゐる心なのだらう	1
林 桂	1	クレヨンの黄を麦秋のために折る	1
朴美代子	1	わが枢小窓閉じれば北風止む	1
堀田季何	1	+ -	1
堀 葦男	1	ぶつかる黒を押し分け押し来るあらゆる黒	1
前田 弘	1	日は氷(ひ)	1
宮崎大地	1	なはとびの少女おびただしき少女	1
宮本佳世乃	1	ともだちの流れてこないプールかな	1
瀧 春一	1	めぐり立つ雪山胸がどきどきする	1
山口誓子	1	夏の河赤き鉄鎖のはし浸る	1
山本紫黄	1	象嵌の金の失せしよ早寝島	1
鷺谷七菜子	1	幹ひかりはじめて秋のさるすべり	1